

# 組み立て設置説明書

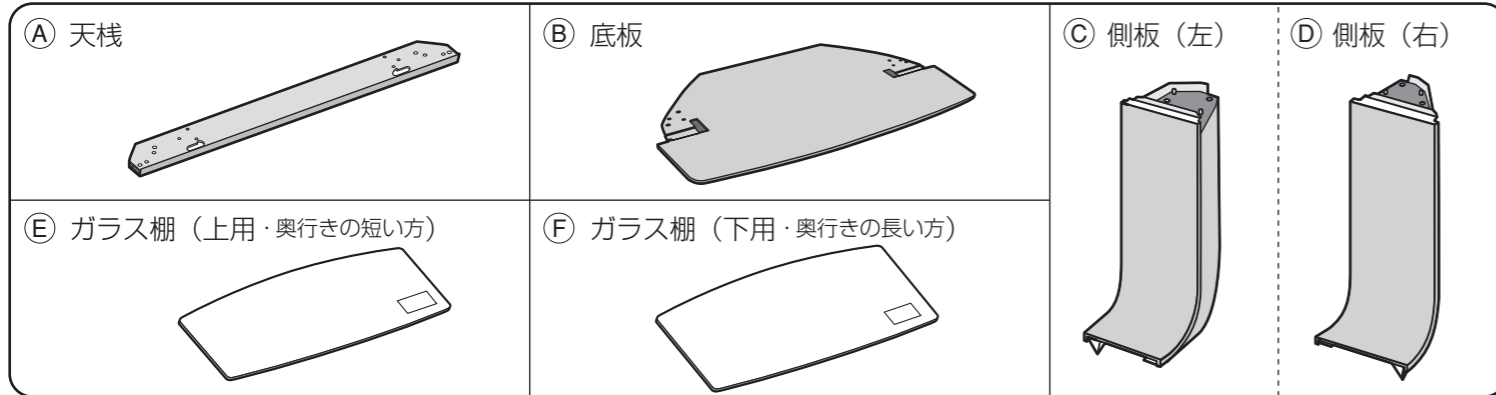
品番  
 TY-S50PX50  
 TY-S42PX50  
 TY-S37PX50

この組み立て設置説明書は、お客様が大切に保存してください。

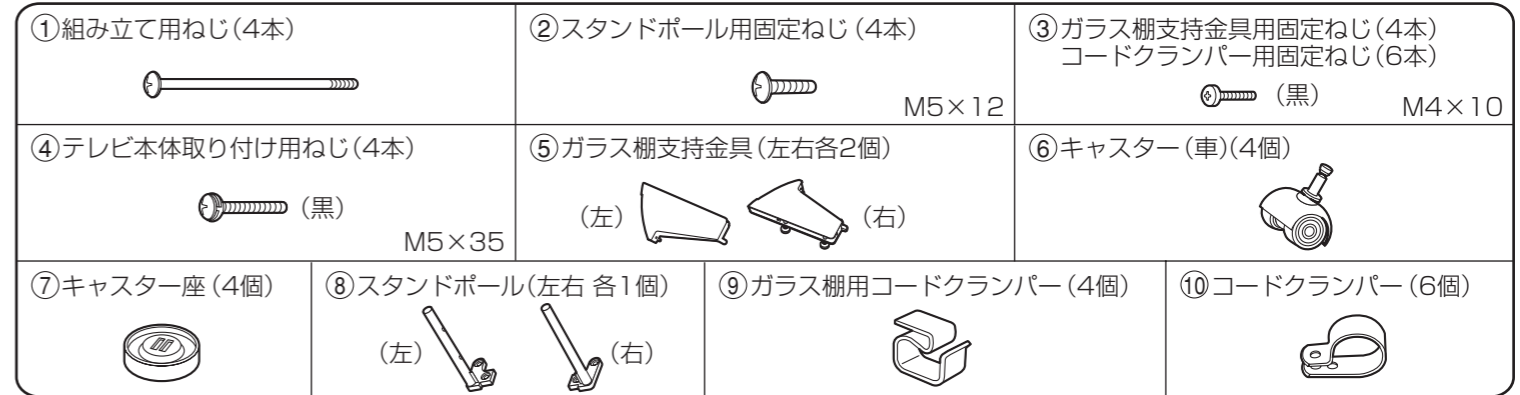
お買い上げいただきありがとうございます。

- ご使用前に、この「組み立て設置説明書」、裏面の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

## 主要部品 組み立ての前に部品の確認を行ってください。



## 付属部品 組み立ての前に部品の確認を行ってください。



## 組み立て方法

ねじ止めをする箇所は、締め付け不十分や締め付けすぎがないようお願いします。

### 主要部品の準備

#### ■ 底板の準備

- ① 底板(B)の裏面にキャスター(車)⑥(4個)を差し込んでください。

#### ■ 天棧の準備

- ② 天棧(A)にスタンドポール⑧(左右各1個)をスタンドポール用固定ねじ②(4本)で取り付けてください。

### 本体組み立て

- ③ 準備した底板(B)のダボ穴に側板(左C右D)のダボを合わせて差し込んでください。

- ④ 側板(左C右D)上のダボに準備した天棧(A)の裏面のダボ穴を合わせて差し込み、組み立て用ねじ①(4本)で、天棧・側板・底板をしっかり取り付けてください。

※組み立て用ねじ①は垂直に差し込んでください。

- ⑤ 側板にガラス棚支持金具⑤(左右各2個)をガラス棚支持金具用固定ねじ③(4本)で取り付けてください。

※ガラス棚(下)の取り付け位置は2段階に調整できますので、収納機器の高さに応じて取り付けてください。

※ガラス棚支持金具のガラス棚固定用ねじは、あらかじめ、ゆるめてください。

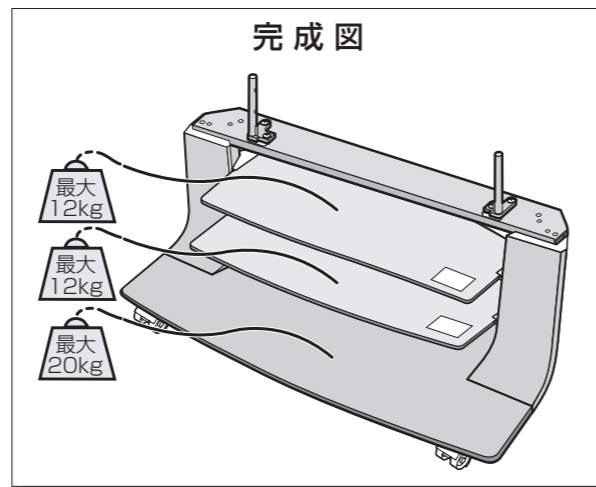
- ⑥ ガラス棚の取り付け

※ガラス棚は上用(奥行き短い方)・下用(奥行き長い方)の2種類があります。

表示はガラス棚注意ラベルの右上に、上用・下用の表示をしています。ご確認の後ガラス棚を取り付けてください。

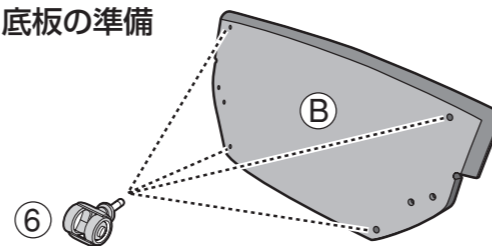
- ガラス棚(下用)⑥を確認のうえ注意ラベルを右手前にして、ガラス棚支持金具⑤の溝に平行に先端部まで差し込み、ガラス棚固定用ねじで取り付けてください。

- ガラス棚(上用)⑥も同じように取り付けてください。

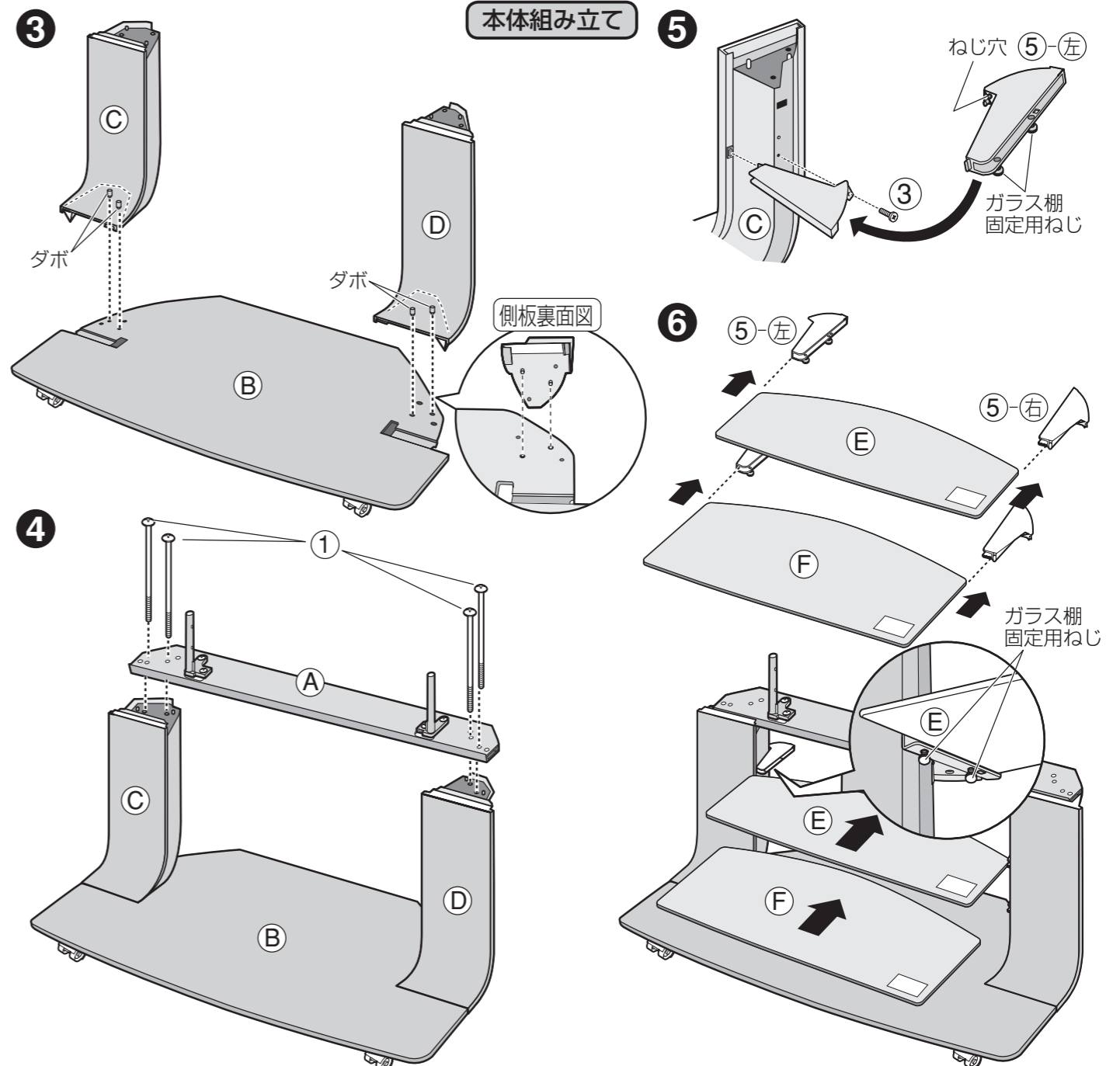
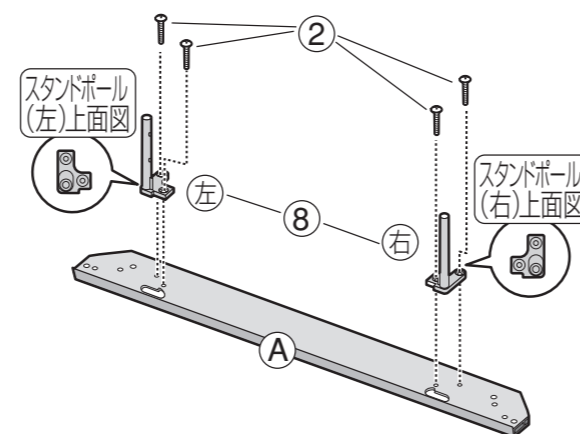


### 主要部品の準備

#### ① 底板の準備



#### ② 天棧の準備



●イラストはイメージイラストであり、実際の商品と形状が異なる場合があります。

**設置方法と設置後のお願い**

**■ テレビ本体の設置と固定方法**

※ 設置作業は指詰めや腰をいためないように注意してください。

- 1 テレビ本体を垂直に持ち上げテレビ台のスタンドポールに差し込み、テレビ本体とテレビ台の左右の位置を確認し左右どちらかに片寄りがある場合はテレビ本体を左右に動かして調整してください。
- 2 テレビ本体取り付け用ねじ④(4本)でテレビ本体とテレビ台をしっかりと固定してください。
- 3 テレビ本体とテレビ台の段差が大きい場合は、ガラス棚固定用ねじをゆるめて側板を回転させ調整してください。調整の後、再度締め付けてください。(右図参照)

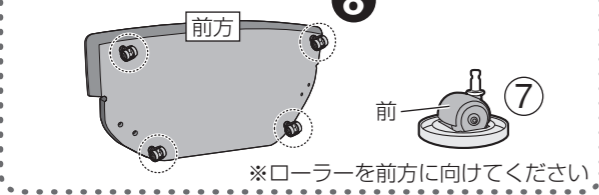
**■ テレビ本体・収納機器の配線処理**

- 4 ガラス棚または底板上に収納機器を載せてください。  
※ 録画機器は棚板下段または底板上に設置してください。(棚板上段に載せると映像に障害が出る場合があります。)
- 5 収納機器とテレビ本体の配線処理を行ってください。
- 6 配線処理はコードクランパー⑩(6個)とコードクランパー用固定ねじ③(6本)を使って行ってください。
- 7 ガラス棚用コードクランパー⑨(4個)を使って各コードが溝からはみ出ないようにはめ込んでください。

**■ キャスター座の使い方**

- 8 全ての作業の後でキャスター座⑦(4個)を敷いて固定してください。

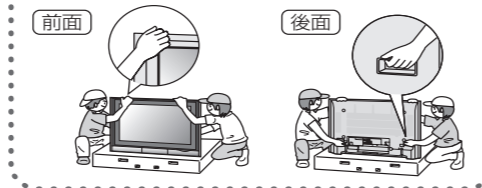
**キャスター座位置**



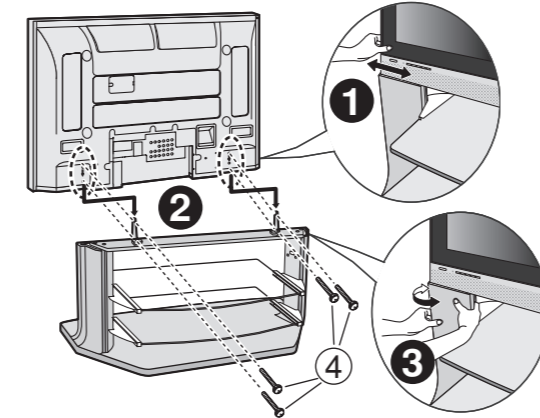
**■ 転倒防止について**

- 9 天棧後部の2カ所の穴(左右)に、じょうぶなひもやクサリなど市販品を使ってしっかりした壁や柱に取り付けてください。

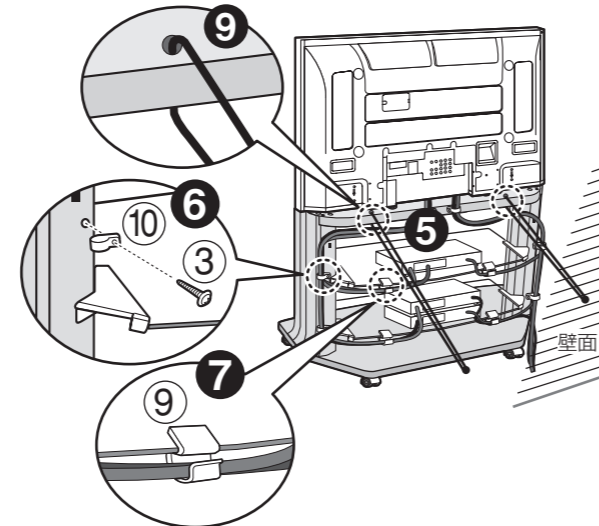
※ イラストで示す後面左右の把手部分に手をかけて設置してください



**1 テレビ本体の設置と固定方法**



**2 テレビ本体・収納機器の配線処理**



**取り扱い上のお願い**

- 1) 直射日光に当てたり、ストーブなどのそばに置くと、光や熱によって変色したり変形することがありますのでご注意ください。
- 2) お手入れは乾いた布でふいてください。ひどく汚れているときは、水でうすめた中性洗剤で汚れを取ってから乾いた布でふいてください。  
なおベンジンやシンナー、家具用ワックスなどは、塗装がはげたりしますので、使用しないでください。(化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。)
- 3) 粘着性のテープやシールをはらないでください。テレビ台表面を汚すことがあります。

**安全上のご注意**

**必ずお守りください**

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。



**注意** この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。



この絵表示は、してはならない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

**注意**

**カタログで指定したテレビ以外には使用しないでください**



- テレビ台に載せられる総質量(テレビ本体の質量+ガラス棚に載せる機器の質量)を越えて長期間使用されますと破損してけがの原因となります。
- ガラス棚上段・下段は12kg、底板は20kgを越える機器を載せないでください。

**テレビ台に乗ったり、踏み台代わりに使用しないでください**



- 倒れたり、破損してけがの原因となります。(特に小さなお子様にご注意ください。)



**キャスター(車)には注油しないでください**



- キャスター(車)のひび割れ・破損の原因となり、倒れたり、破損してけがの原因となります。

**組み立て時、ねじ止めをする箇所は、すべてしっかりと止めてください。また、裏板や仕切り板(補強板)は確実に取り付けてください**



- 不十分な組み立てかたをすると強度が保てず、倒れたり破損してけがの原因となります。
- 機種によっては、裏板や仕切り板(補強板)のない台もあります。

**移動させるときは、キャスター座を取り除いてから、移動させてください**



- 倒れたり、破損してけがの原因となります。

**テレビは転倒防止の処置をしてください**



- 地震やお子様がよく登ったりすると、転倒しけがの原因となります。

**テレビ設置時に、指をはさまないようにご注意ください**



- けがの原因となります。

**ご相談窓口における個人情報のお取り扱い**

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

松下電器産業株式会社  
映像・ディスプレイデバイス事業グループ  
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

パナソニックお客様相談センター  
電話 フリーダイヤル ☎ 0120-878-365  
FAX フリーダイヤル ☎ 0120-878-236  
365日/受付9時~20時